

## 静岡県・三重県との懇談会

中経連は以下の日程で、静岡県・三重県との懇談会を開催し、双方の今年度の事業計画に関する情報の共有、意見交換を行った。懇談概要は以下のとおり。

開催日	参加者	
7月4日(月) 静岡県との懇談会	静岡県 中経連	川勝知事、難波副知事、土屋副知事、吉林副知事はじめ13名 豊田会長、須田評議員会議長、中西副会長、水野副会長はじめ11名
7月25日(月) 三重県との懇談会	三重県 中経連	鈴木知事、石垣副知事、渡邊副知事はじめ11名 豊田会長、須田評議員会議長、上田副会長、水野副会長、小川副会長はじめ11名

### 静岡県との懇談会

冒頭挨拶で、豊田会長は「静岡県には富士山をはじめとした豊富な観光資源に加え、2019年のラグビーワールドカップの会場となるエコパスタジアム、2020年の東京オリンピックの自転車競技の会場となる伊豆ベロドロームなど、世界に誇る数多くの地域資源を有している。また、富士山静岡空港の外国人出入国者数も増えている。静岡県におかれては、観光産業の振興に加え、中部・北陸の昇龍道エリアが一体となった広域観光の推進についてもご協力をお願いしたい」と述べた。

一方、川勝知事は「今年2月に新東名高速道路の浜松いなさJCT～豊田東JCT間が開通したことにより、東西軸のダブルネットワークが形成され、県境を越えた連携がさらに進みやすくなる。静岡県では重点事業の中で防災対策に力を入れている他、新たな成長産業の創出やスポーツの振興にも取り組んでいる」と述べられた。

その後、自由懇談に移り、地元住民のみならず観光客の安全にも配慮した防災対策、産業や地域の活性化に繋がる交通ネットワークの整備などについて幅広く議論を行った。



### 三重県との懇談会

冒頭挨拶で、豊田会長は「伊勢志摩サミットが無事開催され、大きな成果をあげられたことに深く敬意を表する。さらなる当地域の活性化に向けて、官民が広域で連携し、より多くの海外からのお客様をおもてなしの心でお迎えするとともに、積極的に海外との交流に努めることが重要である。また、成長分野として期待される航空宇宙産業や、農林水産物の付加価値を高める食関連産業への取り組みなど、鈴木知事には三重県のさらなる発展に向けてリーダーシップを発揮していただきたい」と述べた。

一方、鈴木知事は「5月に開催された伊勢志摩サミットは大成功を収めることができた。全ての関係者の方々に心より感謝申し上げる。また、『伊勢志摩サミット東海会議』による当地域の海外での認知度向上に向けた取り組みに対しても感謝申し上げる。サミットは三重県にとって新たなチャンスであり、このチャンスを三重の未来に活かすために『ポストサミット』事業に取り組んでいく」と述べられた。

その後、自由懇談に移り、観光産業の振興や観光客を含めた防災対策、林業や食関連産業の振興、産業や地域の活性化に繋がるインフラ整備などについて意見交換を行った。

(企画部 岡戸 信之)

